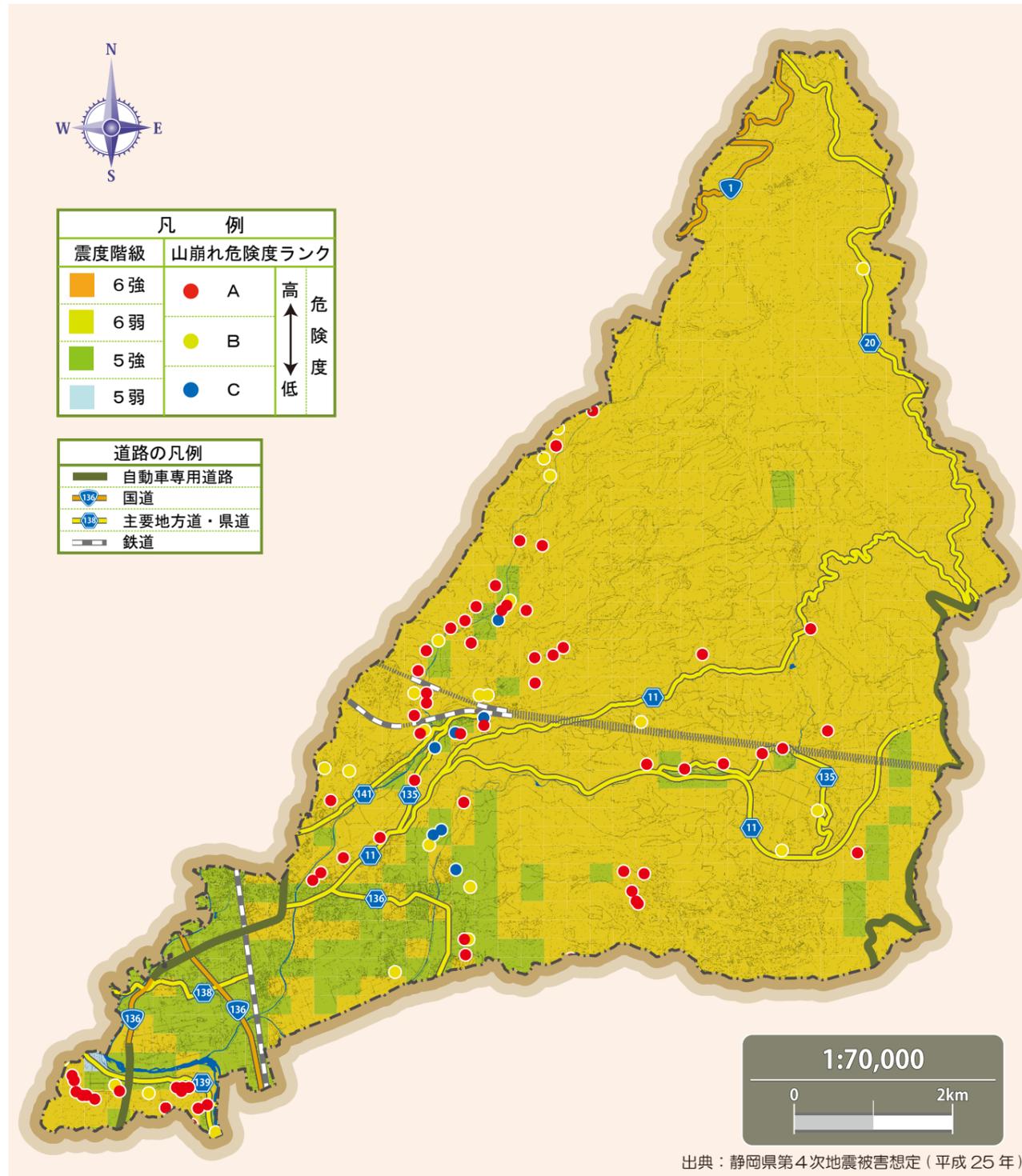


震度分布図

- 「震度分布図」とは、南海トラフ巨大地震・元禄型関東地震をモデルにした地震が発生した場合に、地域の地盤の状況を考慮して、地表の揺れやすさを震度として評価し、一辺が約250mの四角形の区域を基本単位として表現したものです。
- なお、震源の位置や地震の規模が異なれば、地域の地表の揺れは、マップに示した震度よりも強くなったり、弱くなったりすることがあります。

【駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震（南海トラフ巨大地震東側ケース）】



- 山崩れ危険箇所とは、地震動により引き起こされた斜面の崩壊（山・崖崩れ）により被害が発生する場合を想定したものです。
- 「ランクA」は崩壊の可能性が高い、「ランクB」は崩壊の可能性はある、「ランクC」は崩壊の可能性が低いとなっています。

【相模トラフ沿いで発生する地震（元禄型関東地震）】

